



清水小学校_令和 7 年度第 7 回学運協議事録

日時/場所

[2025 年 11 月 28 日 19 時 00 分～20 時 30 分] / [清水小 みのり教室]

出席者

[荒井雄一、新庄良輔、須藤美樹、茂木栄、関谷健司、野島恵子、下谷晴一郎、露木逸人]

欠席者

[酒井章、上野敏文]

<情報交換>

1 会長挨拶

音楽会での協働活動人数の増加や、学校施設利用者に子どもたちを視野に入れた意識の変化が表れてきた。実践する事で変化が生じる。実践する事、実践できることのマネジメントを持続していく事が必要。

2 校長挨拶

10 月～11 月不審者情報について

知らない人にはついて行かない、個人情報を知らせない、という指導を続けている。

音楽会ではチケット制、保護者会では名札着用で受付の動線を徹底している。

今後も継続していく。協力をお願いしてく。

委員 近隣の学校へは伝えているか。

校長 伝えている。注意喚起、メール等で知らせている。

委員 加害者の顔を見ているか。

校長 共有はしないよう、警察からの指導があった。

委員 不審者への認識が甘いところがある。

日頃から自分の身を守るということを教えていくことが大切である。

大事には至っていない、大きな犠牲がない事で完結することではなく、日頃から注意することを慣習化していくことが必要である。

今後もどのように継続していくか、例えば、朝の安全ボランティアだけでよいのか、市内の不審者情報等を見ると不審者の出現する時間帯は朝よりも日中や夕方の方が多い。交通安全の見守りとともに、下校時間の防犯にも視点をあてた地域の取り組みは必要。PTCAと協力しながら進めていく。

校長 今後もセキュリティを高めていくことは継続して行っていく。

委員 学校安全ボランティアには知らせているのか。

校長 情報の出し方を検討している。

委員 スクールガードリーダーには共有している。

実施事項

学運協だより発行

製作する上で編集のアイデアなど一部の委員に偏っている。

学校運営協議会としての広報紙であるため、編集構成会議を開いて様々な意見を交わしたうえで製作できるようにしたい

協議/決議事項

○音楽会ボランティアアンケートから見えること

音楽会での入場整理ボランティアを実施した方々へアンケートを行い、学校へ報告。ボランティア実施者の様々な感想や課題を知る事ができた。

学校にあがった参観者の声をボランティア実施者にも共有するなど“協働”ができるよう双方で行っていけるとよい。

中学生の主体的なボランティア参加は、中高一貫の取組としてもよかった。

○三鷹市のコミュニティスクール動画講習

～受講後各委員感想～

・学校の環境保全活動などを行ってきたが、コミュニティスクールへの参画として PTCA に関わっているものと動画を観て、自身の行動とコミュニティスクールの推進につながってきた。

・小中一貫とは

町会がもっと関わるためにはどうしたらよいか。

・保育園は保護者の方が子どもと関わるのが楽しいと思えるように、子どもと一緒に活動することを多くしている。将来子どもと関わるのが楽しいと思える人を増やしたい。

・三鷹と比べて地域が広い。関わる機会をつくるのが難しい。

・八王子のシステムでは、それぞれの学校が活動しているので、一緒に活動することが難しいのではないかと。

・合同学運協会議が実現しないのはなぜなのかと考えると、コミュニティスクールについて認識しているかと思う。

・ブラスバンドの練習を中学生が見ることを始めたように、つながってきた。キャリア教育を充実させることで、地域教育という意味での共通項が出てくる。地域として活動していくことをもっとやっていくことができると思う。

・地元がどうしたいのか、ということを考えていくことが必要である。アンケートの活用について検討することもよい。

情報連携

無し

お知らせ

次回開催日 12月16日（火）19：00～

書記 中島副校長
編集 新庄良輔

承認日 2025年12月8日(月)